

長崎県外来種リスト(改定版)

＜リストの構成＞

●動物編

- ・哺乳類（39種）
- ・鳥類（15種）
- ・爬虫類（30種）
- ・両生類（22種）
- ・魚類（61種）
- ・昆虫類（41種）
- ・陸生節足動物（12種）
- ・その他無脊椎動物（48種）

●植物編（204種）



自然環境課生物多様性保全班

令和7年6月改定

＜本リストについて＞

- ・一般に、外国から日本に入ってきた生き物を「外来種」と呼び、希少な生き物や農作物を食べつくす、人へも感染する恐れのある病気を媒介する等、生態系や私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。
- ・本リストは、令和元年に発行した「長崎県外来種リスト」を改定したものです。改定にあたっては、有識者から助言のあった「長崎県で注目すべき外来種」を追加し、本県の自然環境や希少種の特徴を踏まえた独自性のあるリスト、地域毎の対策に参考にできるリストを目指しました。また、国の「生態系被害防止外来種リスト」にも準拠し、今後、本県に侵入する恐れのある外来種についても追加しました。
- ・令和6年度時点で得られた情報を元にしており、また、現時点では確認されていない種も含まれていますが、全国的にも外来種の侵入・拡散は常に進行しており、今後の動向には注意が必要です。
- ・なお、本リストの掲載種は、いずれも「明治以降に国内に侵入した外来種」を対象としており、それ以前に侵入したと考えられている外来種（＝史前帰化生物）は対象外としています。具体的には、その説が有力視されているクサガメやニホンヤモリ、モンシロチョウ等が該当します。
- ・代表的な外来種の識別や対策について、もっと知りたい方は「外来種リスト普及版」を参照ください。

哺乳類

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・特定外来生物 ・条件付特定外来生物 ・定着予防外来種 ・総合対策外来種 ・産業管理外来種	確認された市町 赤色：これまでに確認されている。 橙色：情報あり。生息・生育が予想される。 黄色：過去に記録あり。現在は不明 黒色：過去に確認、駆除した。新しい情報なし。 空種：情報なし 灰色：参考情報																				本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報			
						農林水産業等の人への影響 ^{※1}	生態系への影響 ^{※1}				佐世保市 （宇久を除く） 長崎市	佐世保市 宇久町	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町		新上五島町		
哺乳類	1	アライグマ	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	Ⅰ	◎	アライグマ / 国立環境研究所 侵入生物DB	アライグマ防除マニュアルに関するメモ (環境省 自然環境局野生生物課外来生物対策室 令和2年3月一部修正)	特定外来生物																							【生息情報】 ・離島及び一部の市を除く県内本土で確認、駆除されている。 【被害・影響】 ・雑食で、捕食による在来種、農作物への被害の他、糞尿による家屋や文化財への被害等がある。 ・県北地区において、捕食によるカスミサンショウウオ、ブチサンショウウオ、アカハライモリ、ニホンヒキガエル、ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、トノサマガエル、カジカガエルへの影響が出ている。 ・アライグマ回虫の可能性や狂犬病ウイルスを媒介する恐れがある。		
	2	リス	クリハラリス（タイワンリス）	<i>Callosiurus erythraecus</i>	Ⅰ	◎	◎	クリハラリス / 国立環境研究所 侵入生物DB	野生鳥獣被害防止マニュアルーアライグマ、ヌートリア、キョン、マングース、タイワンリス (特定外来生物種)ー平成22年3月版 農林水産省	特定外来生物																						【生息情報】 ・壱岐島では北部から南部へ分布域が拡大しており、福江島では鬼岳から島北部・南部へ急速に分布拡大している。 【被害・影響】 ・ツバキ、ミカン、大根等の農業被害、野鳥を襲う生態系被害、電線をかじるため停電や漏電等の生活影響が出ている。 【対応】 ・五島市が防除実施中であるが、早急に捕獲体制を再構築する必要がある。		
	3	ウシ	ノヤギ (ヤギの野生化したもの)	<i>Capra hircus</i>	Ⅱ		◎	ヤギ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							【生息情報】 ・伊島（佐世保市黒島町）に多く生息。 【被害・影響】 ・下層植生や海浜植生がダメージを受け、表土流出等の被害あり。	
	4	ネコ	ノネコ（イエネコの野生化したもの）	<i>Felis silvestris catus</i>	Ⅱ		◎	ネコ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							【被害・影響】 ・メジロ等の野鳥への影響、ツシマヤマネコやイエネコへの病気の媒介等の影響が大きい。 【対応】 ・県内においては「地域猫対策」を実施しており、さらに対馬市では「ネコ適正飼養推進事業」を実施するなど、野良猫の対策に取り組んでいる。	
	5	イタチ	対馬以外のチョウセンイタチ	<i>Mustela sibirica</i>	Ⅲ		◎	チョウセンイタチ / 国立環境研究所 侵入生物DB	福岡県侵略的外来種防除マニュアル2021ー福岡県侵略的外来種リスト2018における重点対策外来種20種(福岡県環境部自然環境課 令和4年3月発行) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/169206.pdf	総合対策外来種 国内由来の外來種																							【生息情報】 ・生体を目撃しただけでは本種と在来種のイタチの識別は困難であり、死体等で本種と確認した例は少ないが、多くが本種と思われる。なお、自然分布域の対馬では本種が激減している。	
	6	イヌ	ノイヌ (イヌの野生化したもの)	<i>Canis lupus</i>	Ⅲ		◎	イヌ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							【生息情報】 ・自治体の努力により大幅に減少している。	
	7	ウサギ	カイウサギ（アナウサギ）	<i>Oryctolagus cuniculus</i>	Ⅲ		◎	アナウサギ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							【被害・影響】 ・島嶼部に入ると問題になる。	
	8	ネズミ	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>	Ⅲ		◎	クマネズミ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	9	ネズミ	ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>	Ⅲ	◎	◎	ドブネズミ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	10	ネズミ	ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>	Ⅲ	◎	◎	ハツカネズミ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							【生息情報】 ・確認例は少ないが、県内に広く分布している。	
	11	アライグマ	カニクイアライグマ	<i>Procyon cancrivorus</i>	Ⅳ		◎	◎		特定外来生物																								
	12	イタチ	アメリカミンク（ミンク）	<i>Neovison vison</i>	Ⅳ		◎	◎	アメリカミンク / 国立環境研究所 侵入生物DB	特定外来生物																								
	13	イタチ	伊豆諸島などのニホンイタチ	<i>Mustela itatsi</i>	Ⅳ		◎	◎	ニホンイタチ / 国立環境研究所 侵入生物DB	総合対策外来種 国内由来の外來種																								
	14	イタチ	フェレット	<i>Mustela furo</i>	Ⅳ		◎	◎		定着予防外来種																								
	15	イノシシ	ノブタ・イノブタ（ブタ・イノブタの野生化したもの）	<i>Sus scrofa</i>	Ⅳ		◎	◎	イノシシ / 国立環境研究所 侵入生物DB	総合対策外来種																							【生息情報】 ・イノシシとの判断が困難（ほぼイノシシ情報）であるため、参考情報として記載	
	16	オナガザル	アカゲザル	<i>Macaca mulatta</i>	Ⅳ		◎	◎	アカゲザル / 国立環境研究所 侵入生物DB	特定外来生物																								
	17	オナガザル	アカゲザル x ニホンザル		Ⅳ		○	○		特定外来生物																								
	18	オナガザル	カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	Ⅳ		◎	◎	カニクイザル / 国立環境研究所 侵入生物DB	特定外来生物																								
	19	オナガザル	タイワンザル	<i>Macaca cyclopis</i>	Ⅳ		◎	◎	タイワンザル / 国立環境研究所 侵入生物DB	特定外来生物																								
	20	オナガザル	タイワンザル x ニホンザル		Ⅳ		○	○		特定外来生物																								
	21	オマキザル	リスザル	<i>Saimiri sciureus</i>	Ⅳ				リスザル / 国立環境研究所 侵入生物DB	総合対策外来種																								

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル （長崎県以外の機関作成分）	環境省選定状況 ・特定外来生物 ・条件付特定外来生物 ・定着予防外来種 ・総合対策外来種 ・産業管理外来種	確認された市町 赤色：これまでに確認されている。 橙色：情報あり。生息・生育が予想される。 黄色：過去に記録あり。現在は不明 黒色：過去に確認、駆除した。新しい情報なし。 空欄：情報なし 灰色：参考情報																				本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報				
						農林水産業等の人への影響※1	生態系への影響※1				長崎市	佐世保市（宇久を除く）	佐世保市宇久町	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町		佐々町	新上五島町		
哺乳類	22	クスクス	フクロギツネ	Trichosurus vulpecula	Ⅳ		◎			特定外来生物																									
	23	シカ	アキシスジカ（アクシスジカ）属	Axis spp.	Ⅳ		◎			特定外来生物																									
	24	シカ	キョン	Muntiacus reevesi	Ⅳ		◎	キョン / 国立環境研究所 侵入生物DB	野生鳥獣被害防止マニュアルーアライグマ、ヌートリア、キョン、マングース、タイワンリス（特定外来生物編）ー平成22年3月版・農林水産省	特定外来生物																									
	25	シカ	シカ属（国内産ニホンジカを除く）	Cervus spp.	Ⅳ		◎	シカ属 / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																									
	26	シカ	シフゾウ	Elaphulrs davidlanus	Ⅳ		◎			特定外来生物																									
	27	シカ	ダマシカ属	Dama spp.	Ⅳ		◎			特定外来生物																									
	28	ジャコウネコ	ハクビシン	Paguma larvata	Ⅳ	◎		ハクビシン / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								【生息情報】 ・長崎県及び九州では確実な情報は無い。 【被害・影響】 ・本県へ侵入した場合、在来 taxa 等との競合、農作物への被害、家屋への侵入が心配される。	
	29	ヌートリア	ヌートリア	Myocastor coypus	Ⅳ	◎	◎	ヌートリア / 国立環境研究所 侵入生物DB	野生鳥獣被害防止マニュアルーアライグマ、ヌートリア、キョン、マングース、タイワンリス（特定外来生物編）ー平成22年3月版・農林水産省	特定外来生物																									
	30	ネズミ	マスカラット	Ondatra ziberhicus	Ⅳ		◎	マスカラット / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																									
	31	ハリネズミ	ハリネズミ属（アムールハリネズミ（マンシュウハリネズミ）など）	Erinaceus spp.	Ⅳ		◎	ハリネズミ属 / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																									
	32	マングース	シママングース	Mungos mungos	Ⅳ		◎			特定外来生物																									
	33	マングース	ジャワマングース	Herpestes javanicus	Ⅳ					特定外来生物																									
	34	マングース	フイリマングース	Herpestes auropunctatus	Ⅳ		◎	フイリマングース / 国立環境研究所 侵入生物DB	野生鳥獣被害防止マニュアルーアライグマ、ヌートリア、キョン、マングース、タイワンリス（特定外来生物編）ー平成22年3月版・農林水産省	特定外来生物																									
	35	リス	キタリス（エゾリスを除く）	Sciurus vulgaris	Ⅳ		◎	キタリス / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																									
	36	リス	シマリス（チョウセンシマリス）	Tamias sibiricus	Ⅳ		◎	シマリス / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																									
	37	リス	タイリクモモンガ ただし、エゾモモンガを除く	Pteromys volans	Ⅳ		◎			特定外来生物																									
	38	リス	トウブハイイロリス	Sciurus carolinensis	Ⅳ		◎	◎		特定外来生物																									
	39	リス	フィンレイソンリス	Callosciurus finlaysonii	Ⅳ		◎	◎	フィンレイソンリス / 国立環境研究所 侵入生物DB	特定外来生物																									

※1 農林水産業等の人への影響、生態系への影響については、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（環境省、2015年）に掲載されている選定理由を参考に、一般的な影響について次のように区分した。

＜農林水産業等の人への影響＞

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅲ、植物の選定理由Ⅴに相当）

空欄：上記以外

＜生態系への影響＞

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅰ、植物の選定理由Ⅳに相当）

○：影響は大きくないものの交雑等で遺伝子攪乱が問題となる場合（動物の交雑種、植物の選定理由Ⅰに相当）

空欄：上記以外

鳥類

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・特定外来生物 ・条件付特定外来生物 ・定着予防外来種 ・総合対策外来種 ・産業管理外来種	確認された市町 赤色：これまでに確認されている。 橙色：情報あり。生息・生育が予想される。 黄色：過去に記録あり。現在は不明 黒色：過去に確認、駆除した。新しい情報なし。 空欄：情報なし 灰色：参考情報																		本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報				
						農林水産業等の人への影響※ ¹	生態系への影響※ ¹				長崎市	佐世保市（宇久を除く）	佐世保市宇久町	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町	川棚町		波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町
鳥類	1	カモ	コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>	Ⅱ		◎	コブハクチョウ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																						【生息情報】 ・佐々川（佐世保市）、雪浦（西海市）等で見られ、繁殖により個体数が増加傾向にある。 【被害・影響】 ・個体数が増加しすぎるとカルガモと競合する可能性があり注意が必要。	
	2	キジ	コウライキジ（大陸産亜種）	<i>Phasianus colchicus karpowi</i>	Ⅱ		◎	コウライキジ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																						【生息情報】 ・生月島、対馬で増えており、壱岐島でも増えている可能性がある。 【被害・影響】 ・在来キジとの競合による影響あり。対馬や壱岐では在来キジは生息せず、在来キジへの影響はない。 ・他県では農業被害が報告されているが、農作物以外にも昆虫等を餌としており、本県における深刻な農業被害は確認されていない。	
	3	チメドリ	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>	Ⅱ		◎	ソウシチョウ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																						【生息情報】 ・個体数が増加している。 【被害・影響】 ・オオルリ・ウグイス・ヤブサメ等と競合する可能性があり注意が必要。	
	4	キジ	インドクジャク	<i>Pavo cristatus</i>	Ⅲ		◎	インドクジャク / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							
	5	チメドリ	ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i>	Ⅲ		◎	ガビチョウ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																							【生息情報】 ・分布は広がっていない。
	6	ヒヨドリ	シロガシラ	<i>Pycnonotus sinensis</i> ssp.	Ⅲ		◎	シロガシラ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							
	7	インコ	ワカケホンセイインコ	<i>Psittacula krameri manillensis</i>	Ⅳ		◎	ワカケホンセイインコ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							
	8	カモ	カナダガン	<i>Branta canadensis</i>	Ⅳ		◎	カナダガン / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																							
	9	キジ	コリンウズラ	<i>Colinus virginianus</i>	Ⅳ		◎	コリンウズラ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							
	10	セイタカシギ	クロエリセイタカシギ	<i>Himantopus mexicanus</i>	Ⅳ		◎	クロエリセイタカシギ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							
	11	チメドリ	カオグロガビチョウ	<i>Garrulax perspicillatus</i>	Ⅳ		◎	カオグロガビチョウ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																							
	12	チメドリ	カオジロガビチョウ	<i>Garrulax sannio</i>	Ⅳ		◎	カオジロガビチョウ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																							
	13	チメドリ	ヒゲガビチョウ	<i>Garrulax cineraceus</i>	Ⅳ			ヒゲガビチョウ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																							
	14	ヒヨドリ	シリアカヒヨドリ	<i>Pycnonotus cafer</i>	Ⅳ			◎			特定外来生物																						
	15	メジロ	外国産メジロ	<i>Zosterops</i> spp.	Ⅳ			◎			定着予防外来種																						

※1 農林水産業等の人への影響、生態系への影響については、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（環境省、2015年）に掲載されている選定理由を参考に、一般的な影響について次のように区分した。

<農林水産業等の人への影響>

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅲ、植物の選定理由Ⅴに相当）

空欄：上記以外

<生態系への影響>

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅰ、植物の選定理由Ⅳに相当）

○：影響は大きくないものの交雑等で遺伝子攪乱が問題となる場合（動物の交雑種、植物の選定理由Ⅰに相当）

空欄：上記以外

爬虫類

分類群	No. 黄種は追加種	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・特定外来生物 ・条件付特定外来生物 ・定着予防外来種 ・総合対策外来種 ・産業管理外来種	確認された市町 赤色：これまでに確認されている。 橙色：情報あり。生息・生育が予想される。 黄色：過去に記録あり。現在は不明 黒色：過去に確認、駆除した。新しい情報なし。 空欄：情報なし 灰色：参考情報																				本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報	
						農林水産業等の人への影響※1	生態系への影響※1				佐世保市 長崎市	佐世保市 (宇久を除く)	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町		新上五島町
爬虫類	1	アガマ	九州のオキナワキノボリトカゲ	<i>Japalura polygonata polygonata</i>	Ⅱ			オキナワキノボリトカゲ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種 国内由来の外来種																				【生息情報】 ・松浦市中心部周辺に定着。物流により侵入(H29.9確認)。本来、奄美諸島や沖縄諸島に生息する樹上性のトカゲ。過去に宮崎県や鹿児島県で確認、駆除されている。 【被害・影響】 ・本県には樹上性のトカゲが存在しないため、樹上性の昆虫類等の捕食や昆虫食者との競合による生態系への影響が心配される。 【対応】 ・九十九島動植物園（森きらら）が継続的に調査を実施。分布域はあまり拡大していない。		
	2	ヌマガメ	アカミミガメ（通称：ミドリガメ）	<i>Trachemys scripta</i>	Ⅱ		◎	ミシシippアカミミガメ / 国立環境研究所 侵入生物DB	はじめてみよう！アカミミガメ防除マニュアル 〔環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室、令和元年7月発行〕 akamimi_manual.pdf	条件付特定外来生物																				【被害・影響】 ・特に福江島では、本種やクサガメとの餌資源・生息地の競合により、ニホンイシガメが今後減少していく可能性がある。 【対応】 ・希少種のニホンイシガメが生息する水域での対策を行うことが重要。		
	3	カミツキガメ	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>	Ⅲ	◎	◎	カミツキガメ / 国立環境研究所 侵入生物DB	カミツキガメ防除の手引き140408 〔環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室、平成28年3月改訂〕	特定外来生物																				【生息情報】 ・雲仙市で捕獲記録、長崎市で目撃情報あり。本種は、逃げ出した個体と推定される。		
	4	アガマ	スインホーキノボリトカゲ	<i>Japalura swinhonis</i>	Ⅳ			スウインホーキノボリトカゲ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																						
	5	イグアナ	グリーンイグアナ	<i>Iguana iguana</i>	Ⅳ			グリーンイグアナ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																						
	6	イシガメ	チュウゴクセマルハコガメ	<i>Cuora flavomarginata flavomarginata</i>	Ⅳ			セマルハコガメ / 国立環境研究所 侵入生物DB		定着予防外来種																						
	7	イシガメ	ハナガメ	<i>Mauremys sinensis</i>	Ⅳ					特定外来生物																						
	8	イシガメ	ミナミイシガメ	<i>Mauremys mutica mutica</i>	Ⅳ			ミナミイシガメ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																						
	9	カミツキガメ	ワニガメ属	<i>Macrochelys</i> spp.	Ⅳ	◎		ワニガメ / 国立環境研究所 侵入生物DB		定着予防外来種																						【対応】 ・本種は、ワシントン条約附属書Ⅱ掲載種であり、注意が必要
	10	クサリヘビ	タイワンハブ	<i>Protobothrops mucrosquamatus</i>	Ⅳ	◎	◎	タイワンハブ / 国立環境研究所 侵入生物DB	タイワンハブ防除マニュアル 〔沖縄県衛生環境研究所、令和3年12月発行〕	特定外来生物																						
	11	スッポン	アメリカスッポン属	<i>Apalone</i> spp.	Ⅳ					定着予防外来種																						
	12	スッポン	チュウゴクスッポン	<i>Pelodiscus sinensis sinensis</i>	Ⅳ		◎	ニホンスッポン / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																						
	13	タテガミトカゲ（イグアナ）	アノリス・アルタケウス	<i>Anotis alutaceus</i>	Ⅳ					特定外来生物																						
	14	タテガミトカゲ（イグアナ）	アノリス・アルログス	<i>Anotis allegus</i>	Ⅳ					特定外来生物																						
	15	タテガミトカゲ（イグアナ）	アノリス・アングスティケプス	<i>Anotis angusticeps</i>	Ⅳ					特定外来生物																						
	16	タテガミトカゲ（イグアナ）	アノリス・ホモレキス	<i>Anotis homolechis</i>	Ⅳ					特定外来生物																						
	17	タテガミトカゲ（イグアナ）	ガーマンアノール	<i>Anotis garmani</i>	Ⅳ					特定外来生物																						
	18	タテガミトカゲ（イグアナ）	グリーンアノール	<i>Anotis carolinensis</i>	Ⅳ		◎	グリーンアノール / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																						
	19	タテガミトカゲ（イグアナ）	ナイトアノール	<i>Anotis equestris</i>	Ⅳ					特定外来生物																						
	20	タテガミトカゲ（イグアナ）	ブラウンアノール	<i>Anotis sagrei</i>	Ⅳ		◎			特定外来生物																						
	21	トカゲモドキ	ヒョウモントカゲモドキ	<i>Eublepharis macularius</i>	Ⅳ					定着予防外来種																						
	22	ナミヘビ	イヌバオオガシラ	<i>Boiga cynodon</i>	Ⅳ					特定外来生物																						
	23	ナミヘビ	タイワンスジオ	<i>Elaphe taeniura friesei</i>	Ⅳ		◎	スジオナメラ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																						
	24	ナミヘビ	ボウシオオガシラ	<i>Boiga nigriceps</i>	Ⅳ					特定外来生物																						
	25	ナミヘビ	マングローブヘビ	<i>Boiga dendrophila</i>	Ⅳ					特定外来生物																						
	26	ナミヘビ	ミドリオオガシラ	<i>Boiga cyanea</i>	Ⅳ					特定外来生物																						
	27	ナミヘビ	ミナミオオガシラ	<i>Boiga irregularis</i>	Ⅳ		◎			特定外来生物																						
	28	ヌマガメ	クーターガメ属	<i>Pseudemys</i> spp.	Ⅳ					定着予防外来種																						
	29	ヌマガメ	チズガメ属3種（ミシシippチズガメ、フトマユチズガメ（サビーンチズガメを含む）、ニセチズガメ）	<i>Graptemys</i> spp.	Ⅳ					定着予防外来種																						
	30	ヌマガメ	ニシキガメ属	<i>Chrysemys</i> spp.	Ⅳ					定着予防外来種																						

※1 農林水産業等の人への影響、生態系への影響については、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（環境省、2015年）に掲載されている選定理由を参考に、一般的な影響について次のように区分した。

<農林水産業等の人への影響>

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅲ、植物の選定理由Ⅴに相当）

空欄：上記以外

<生態系への影響>

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅰ、植物の選定理由Ⅳに相当）

○：影響は大きくないものの交雑等で遺伝子攪乱が問題となる場合（動物の交雑種、植物の選定理由Ⅰに相当）

空欄：上記以外

両生類

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・特定外来生物 ・条件付特定外来生物 ・定着予防外来種 ・総合対策外来種 ・産業管理外来種	確認された市町 赤色：これまでに確認されている。 橙色：情報あり。生息・生育が予想される。 黄色：過去に記録あり。現在は不明 黒色：過去に確認、駆除した。新しい情報なし。 空欄：情報なし 灰色：参考情報																	本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報						
						農林水産業等の人への影響※ ¹	生態系への影響※ ¹				長崎市	佐世保市（宇久を除く）	佐世保市宇久町	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町		川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	
両生類	1	アカガエル	ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i> (<i>Lithobates catesbeianus</i>)	Ⅱ		◎	ウシガエル / 国立環境研究所 侵入生物DB	福岡県侵略的外来種防除マニュアル2021－福岡県侵略的外来種リスト2018における重点対策外来種20種(福岡県環境部自然環境課、令和4年3月発行)。 https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/169206.pdf	特定外来生物																							【生息情報】 ・食用で移入したものが野外へ広がった。 ・離島を含め県内で広く確認されている。なお、対馬では見なくなった（原因不明）、中通島では確認していないが、宇久島・小値賀島には多い。 【被害・影響】 ・雑食で、口に入る大きさの動物はほとんど食べる。餌の競合、捕食による在来種への影響が想定される。周辺に良好な環境が残る地域でも、本種が侵入した池では水生昆虫の種数が少ない。 【対応】 ・ため池等での水抜き、トラップ設置が駆除として有効。	
	2	ヌマガエル	関東以北及び島に侵入したヌマガエル	<i>Fejervarya kawamurai</i>	Ⅱ			ヌマガエル / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種 国内由来の外来種																							【生息情報】 ・西日本の水田でよく見られる種であるが、近年になって五島列島、壱岐、対馬の島嶼部へ、稲わらなどに混入し侵入。五島列島や壱岐では全島に広がっており、対馬では美津島町や豊玉町で普通に見ることができる。今後、生息域が拡大することが懸念される。 ※1981年発行の「五島の生物（長崎県生物学会編）」に生息記録がなく、福江島ではそれ以降に入ってきた可能性あり。 【被害・影響】 ・在来のカエルとの競合による生態系への影響が心配される。	
	3	アオガエル	シロアゴガエル	<i>Polypedates leucomystax</i>	Ⅳ		◎	シロアゴガエル / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																								
	4	アマガエル	キューバズツキガエル（キューバアマガエル）	<i>Osteopilus septentrionalis</i>	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	5	オオサンショウウオ	オオサンショウウオ属の全種※ ※オオサンショウウオ除く	<i>Andrias</i> spp.※ = <i>A. japonicus</i> 除く	Ⅳ		◎	オオサンショウウオ属（在来種を除く） / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																								
	6	オオサンショウウオ	オオサンショウウオ属に属する種間の交雑により生じた生物	<i>Andrias</i> spp.	Ⅳ					特定外来生物																								
	7	コヤスガエル	コキーコヤスガエル	<i>Eleutherodactylus coqui</i>	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	8	ジムグリガエル	アジアジムグリガエル	<i>Kaloula pulchra</i>	Ⅳ					特定外来生物																								
	9	ヒキガエル	アカボシヒキガエル	<i>Bufo punctatus</i>	Ⅳ					特定外来生物																								
	10	ヒキガエル	アフリカヒキガエル	<i>Bufo regularis</i>	Ⅳ					特定外来生物																								
	11	ヒキガエル	伊豆諸島などのアズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>	Ⅳ		◎	アズマヒキガエル / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種 国内由来の外来種																								
	12	ヒキガエル	オオヒキガエル	<i>Bufo marinus</i> (<i>Rhinella marina</i>)	Ⅳ		◎	オオヒキガエル / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																								
	13	ヒキガエル	オークヒキガエル	<i>Bufo quercicus</i>	Ⅳ					特定外来生物																								
	14	ヒキガエル	キンイロヒキガエル	<i>Bufo guttatus</i>	Ⅳ					特定外来生物																								
	15	ヒキガエル	コノハヒキガエル	<i>Bufo typhonius</i>	Ⅳ					特定外来生物																								
	16	ヒキガエル	テキサスヒキガエル	<i>Bufo speciosus</i>	Ⅳ					特定外来生物																								
	17	ヒキガエル	ブレーンズヒキガエル	<i>Bufo cognatus</i>	Ⅳ					特定外来生物																								
	18	ヒキガエル	ヘリグロヒキガエル	<i>Bufo melanostictus</i>	Ⅳ					特定外来生物																								
	19	ヒキガエル	ヨーロッパミドリヒキガエル テキサスミドリヒキガエル ナンブヒキガエル ガルフコーストヒキガエル ロココヒキガエル（キャハンヒキガエル）の5種		Ⅳ					定着予防外来種																								
	20	ビバ	アフリカツメガエル	<i>Xenopus laevis</i>	Ⅳ			アフリカツメガエル / 国立環境研究所 侵入生物DB	アフリカツメガエル防除マニュアル(鹿児島県、令和6年3月29日現在)。 72338_20200511115158-1.pdf	総合対策外来種																								【対応】 ・熱帯魚の餌として販売されており、今後、野外で増えていく可能性があり注意が必要。
	21	ユビナガガエル	オンシツガエル	<i>Eleutherodactylus planirostris</i>	Ⅳ					特定外来生物																								
	22	ユビナガガエル	ジョンストンコヤスガエル	<i>Eleutherodactylus johnstonei</i>	Ⅳ					特定外来生物																								

※¹ 農林水産業等の人への影響、生態系への影響については、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（環境省、2015年）に掲載されている選定理由を参考に、一般的な影響について次のように区分した。

＜農林水産業等の人への影響＞

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅲ、植物の選定理由Ⅴに相当）

空欄：上記以外

＜生態系への影響＞

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅰ、植物の選定理由Ⅳに相当）

○：影響は大きくないものの交雑等で遺伝子攪乱が問題となる場合（動物の交雑種、植物の選定理由Ⅰに相当）

空欄：上記以外

魚類

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・特定外来生物 ・条件付特定外来生物 ・定着予防外来種 ・総合対策外来種 ・産業管理外来種	確認された市町 赤色：これまでに確認されている。 橙色：情報あり。生息・生育が予想される。 黄色：過去に記録あり。現在は不明 黒色：過去に確認、駆除した。新しい情報なし。 空欄：情報なし 灰色：参考情報																	本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報						
						農林水産業等の人への影響※1	生態系への影響※1				佐世保市 長崎市	佐世保市(宇久を除く)	佐世保市宇久町	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町		川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	
魚類	1	カダヤシ	カダヤシ	Gambusia affinis	Ⅱ		◎	カダヤシ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																						【被害・影響】 ・本種が侵入したハウステンボス町の河川では、希少種のミナメダカの生息地が河口や海まで追いやられている。 【対応】 ・生息・被害の状況を注視すべき。宇久島は、ミナメダカにとって良好な環境が残されており、本種の侵入を警戒すべき場所の一つ。 ・本種がメダカとして販売される例もあり、非意図的に広がる恐れがあり注意が必要。		
	2	コイ	コイ	Cyprinus carpio	Ⅱ			コイ / 国立環境研究所 侵入生物DB		なし																						【生息情報】 ・島原市で観光のため放流。県内で最もアユが遡上する長崎市戸根川でも放流されている可能性あり。 【被害・影響】 ・水底で泥を吸って餌を探すことで細かな泥を舞い上げらせ、水濁・水質悪化の原因になる。泥堆積によるアユ卵の発育阻害等の影響あり。		
	3	コイ	タイリクバラタナゴ	Rhodeus ocellatus ocellatus	Ⅱ		◎	タイリクバラタナゴ / 国立環境研究所 侵入生物DB	福岡県侵略的外来種防除マニュアル2021ー福岡県侵略的外来種リスト2018における重点対策外来種20種(福岡県環境部自然環境課、令和4年3月発行) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/169206.pdf	総合対策外来種																						【被害・影響】 ・希少種のニッポンバラタナゴとの交雑による遺伝子攪乱。		
	4	サケ	ニジマス	Oncorhynchus mykiss	Ⅱ		◎	ニジマス / 国立環境研究所 侵入生物DB		産業管理外来種																							【被害・影響】 ・繁殖の可能性は低いものの、肉食性が強いため、生態系に対する攪乱が懸念される。 【対応】 ・釣り堀やイベント等での意図しない放流に注意が必要。	
	5	サンフィッシュ	オオクチバス	Micropterus salmoides	Ⅱ		◎	オオクチバス / 国立環境研究所 侵入生物DB	オオクチバス等の防除の手引き(環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室、平成26年3月改訂) manual_bass.pdf	特定外来生物																							【被害・影響】 ・直接的には、水生希少動物への影響が大きい。ヤマアカガエルの幼生がため池で捕食されている。 ・間接的には、釣り人の干渉によるヤマセミの営巣放棄が挙げられ、佐世保市では個体群が消失した。 【対応】 ・生息・被害の状況を注視すべき	
	6	サンフィッシュ	コクチバス	Micropterus dolomieu	Ⅱ		◎	コクチバス / 国立環境研究所 侵入生物DB	オオクチバス等の防除の手引き(環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室、平成26年3月改訂) manual_bass.pdf	特定外来生物																							【被害・影響】 ・種苗生産されたアユは、警戒心が薄いため本種に捕食されやすい。	
	7	サンフィッシュ	ブルーギル	Lepomis macrochirus	Ⅱ		◎	ブルーギル / 国立環境研究所 侵入生物DB	オオクチバス等の防除の手引き(環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室、平成26年3月改訂) manual_bass.pdf	特定外来生物																							【生息情報】 ・佐世保市吉井町のため池。長崎市浦上川(大橋～純心女子高等学校前。様々なサイズの個体が生息し、浦上貯水池の水門前も多くみられることから、貯水池から流れてきている可能性あり) 【被害・影響】 ・同所的に生息していたゲンゴロウ類がみられなくなった例あり 【対応】 ・生息・被害の状況を注視すべき	
	8	サンフィッシュ	フロリダバス	Micropterus floridanus	Ⅱ				オオクチバス等の防除の手引き(環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室、平成26年3月改訂) manual_bass.pdf	なし																							【生息情報】 ・オオクチバスから分けられ別種となった種で、県内でもオオクチバスとの交雑個体が入ってきている可能性あり。オオクチバスよりも成長が速く、大型。 【被害・影響】 ・オオクチバスと同様の被害が想定される。	
	9	タイワンドジョウ	カムルチー	Channa argus	Ⅱ			カムルチー / 国立環境研究所 侵入生物DB		なし																							【生息情報】 ・県内の河川で1箇所、クリークで2箇所、生息を確認。放流の可能性が疑われる。 【被害・影響】 ・生息場所の1つは佐世保市にあるニッポンバラタナゴの生息地で、捕食による影響を受ける。 【対応】 被害の状況を注視し、駆除すべき。	
	10	カダヤシ	グッピー	Poecilia reticulata	Ⅲ		◎	グッピー / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								【生息情報】 ・長崎市浦上川で確認されるが再生産はされていない。飼育個体の逸失(遺棄)の可能性あり。
	11	カワスズメ	ナイルティラピア	Oreochromis niloticus	Ⅲ		◎	ナイルティラピア / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								【生息情報】 ・諫早市森山町の唐比湿地では、湧水があり温度が一定で冬も下がらないため、繁殖している。
	12	コイ	ソウギョ	Ctenopharyngodon idellus	Ⅲ		◎	ソウギョ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								【生息情報】 ・島原市の白土湖。長崎市浦上水源地、浦上川には過去に多数確認されていたが、現在は不明。
	13	ドジョウ	カラドジョウ	Paramisgurnus dabryanus	Ⅲ		◎			総合対策外来種																								【生息情報】 ・中国から釣り餌として導入された経緯があり、過去の魚類学雑誌に長崎県に生息という記載があるが未確認。 【対応】 ・釣り人等の意図的放流とそれによる在来ドジョウへの遺伝子攪乱には注意する必要がある。
	14	アカメ	ナイルパーチ	Lates niloticus	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	15	イクトルルス	チャネルキャットフィッシュ(アメリカナマズ)	Ictalurus punctatus	Ⅳ		◎	チャネルキャットフィッシュ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																								
	16	イクトルルス	ブラウンブルヘッド	Ameiurus nebulosus	Ⅳ					特定外来生物																								
	17	イクトルルス	フラットヘッドキャットフィッシュ	Pylodictis olivaris	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	18	ガー	ガー科に属する種間の交雑により生じた生物		Ⅳ					特定外来生物																								
	19	ガー	ガー科の全種	Lepisosteidae Gen. spp.	Ⅳ		◎			特定外来生物																								【生息情報】 ・過去に長崎市野母町の公園施設内のため池で目撃情報があり 【対応】 ・テレビ番組の企画で水抜きを行い、駆除済み。
	20	カダヤシ	ガンブスピア・ホルブロオキ	Gambusia holbrooki	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	21	カダヤシ	ソードテール	Xiphophorus hellerii	Ⅳ		◎	グリーンソードテール / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	22	カワカマス(バイク)	カワカマス(バイク)科の全種	Esocidae Gen. spp.	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	23	カワカマス(バイク)	カワカマス科に属する種間の交雑により生じた生物		Ⅳ					特定外来生物																								
	24	カワスズメ	カワスズメ	Oreochromis mossambicus	Ⅳ		◎	モザンビークティラピア / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	25	カワスズメ	ジルティラピア	Tilapia zillii	Ⅳ		◎	ジルティラピア / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・ 高 Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ 低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル （長崎県以外の機関作成分）	環境省選定状況 ・ 特定外来生物 ・ 条件付特定外来生物 ・ 定着予防外来種 ・ 総合対策外来種 ・ 産業管理外来種	確認された市町 ■ 赤色：これまでに確認されている。 ■ 橙色：情報あり。生息・生育が予想される。 ■ 黄色：過去に記録あり。現在は不明 ■ 黒色：過去に確認、駆除した。新しい情報なし。 ■ 空欄：情報なし ■ 灰色：参考情報																	本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報				
						農林水産業等の人への影響※ ¹	生態系への影響※ ¹				長崎市	佐世保市 （宇久を除く）	佐世保市宇久町	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	杵岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町		川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町
	26	カワスズメ	スポッテッドティラピア	<i>Tilapia mariae</i>	Ⅳ		◎			定着予防外来種																						

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・特定外来生物 ・条件付特定外来生物 ・定着予防外来種 ・総合対策外来種 ・産業管理外来種	確認された市町 赤色：これまでに確認されている。 黄色：過去に記録あり。現在は不明 黒色：過去に確認、駆除した。新しい情報なし。 空欄：情報なし 灰色：参考情報																	本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報						
						農林水産業等の人への影響※1	生態系への影響※1				佐世保市 長崎市	佐世保市(宇久を除く)	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	杵臼市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町	川棚町		波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町		
魚類	27	カワスズメ	ブルーティラピア	Oreochromis aureus	Ⅳ		◎			総合対策外来種																								
	28	ギギ	九州北西部及び東海・北陸地方以東のギギ	Tachysurus nudiceps	Ⅳ			ギギ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種 国内由来の外来種																								
	29	ギギ	コウライギギ	Pseudobagrus fulvidraco	Ⅳ			コウライギギ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																								
	30	ケツギョ	ケツギョ	Siniperca chuatsi	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	31	ケツギョ	コウライケツギョ	Siniperca scherzeri	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	32	コイ	アオウオ	Mylopharyngodon piceus	Ⅳ		◎	アオウオ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	33	コイ	アカヒレ	Tanichthys albonubes	Ⅳ		◎			総合対策外来種																								
	34	コイ	オオタナゴ	Achelognathus macropterus	Ⅳ		◎	オオタナゴ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																								
	35	コイ	コクレン	Aristichthys nobilis	Ⅳ		◎	コクレン / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	36	コイ	ゼブラダニオ	Danio rerio	Ⅳ		◎	ゼブラダニオ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	37	コイ	パールダニオ	Danio albolineatus	Ⅳ		◎	パールダニオ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	38	コイ	ハクレン	Hypophthalmichthys molitrix	Ⅳ		◎	ハクレン / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	39	コイ	琵琶湖・淀川以外のハス	Opsarichthys uncirostris uncirostris	Ⅳ		◎	ハス / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種 国内由来の外来種																								
	40	コイ	レッドホースミノー	Cyprinella lutrensis	Ⅳ		◎			定着予防外来種																								
	41	サケ	カワマス	Salvelinus fontinalis	Ⅳ		◎	カワマス / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	42	サケ	ブラウントラウト	Salmo trutta	Ⅳ		◎	ブラウントラウト / 国立環境研究所 侵入生物DB		産業管理外来種																								
	43	サケ	レイクトラウト	Salvelinus namaycush	Ⅳ		◎	レイクトラウト / 国立環境研究所 侵入生物DB		産業管理外来種																								
	44	シクリッド	コンヴィクトシクリッド	Cichlasoma nigrofasciatum	Ⅳ		◎	コンドクト・シクリッド / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	45	タカサゴイシモチ	インディアングラスフィッシュ	Pseudambassis ranga	Ⅳ		◎			総合対策外来種																								
	46	トウゴロウイワシ	ベヘレイ	Odontesthes bonariensis	Ⅳ		◎	ベヘレイ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	47	ナマズ	ヨーロッパナマズ	Silurus glanis	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	48	パーチ	バイクパーチ	Sander lucioperca	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	49	パーチ	ヨーロッパアンパーチ	Perca fluviatilis	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	50	パーチ	ラッフ	Gymnocephalus cernuus	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	51	ハゼ	ラウンドゴビー	Neogobius melanostomus	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	52	ヒレナマズ	ウォーキングキャットフィッシュ	Clarias batrachus	Ⅳ		◎	ウォーキングキャットフィッシュ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	53	ヒレナマズ	ヒレナマズ	Clarias fuscus	Ⅳ		◎			総合対策外来種																								
	54	モロネ	ストライプトバス	Morone saxatilis	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	55	モロネ	ホワイトバス	Morone chrysops	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	56	モロネ	ホワイトパーチ	Morone americana	Ⅳ					特定外来生物																								
	57	モロネ	ホワイトバス x ストライプトバス		Ⅳ					特定外来生物																								
	58	ロリカリア	アマゾンセイルフィンキャットフィッシュ	Pterygoplichthys pardalis	Ⅳ		◎			総合対策外来種																								
	59	ロリカリア	オリノコセイルフィンキャットフィッシュ	Pterygoplichthys multiradiatus	Ⅳ		◎			定着予防外来種																								
	60	ロリカリア	スノーブレコ	Pterygoplichthys anisitsi	Ⅳ		◎			総合対策外来種																								
	61	ロリカリア	マダラロリカリア	Pterygoplichthys disjunctivus	Ⅳ		◎	マダラロリカリア / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								

※1 農林水産業等の人への影響、生態系への影響については、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（環境省、2015年）に掲載されている選定理由を参考に、一般的な影響について次のように区分した。

<農林水産業等の人への影響>

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅲ、植物の選定理由Ⅴに相当）

空欄：上記以外

<生態系への影響>

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅰ、植物の選定理由Ⅳに相当）

○：影響は大きくないものの交雑等で遺伝子攪乱が問題となる場合（動物の交雑種、植物の選定理由Ⅰに相当）

空欄：上記以外

昆虫類

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・特定外来生物 ・条件付特定外来生物 ・定着予防外来種 ・総合対策外来種 ・産業管理外来種	確認された市町 赤色：これまでに確認されている。 橙色：情報あり。生息・生育が予想される。 黄色：過去に記録あり。現在は不明 黒色：過去に確認、駆除した。新しい情報なし。 空欄：情報なし 灰色：参考情報																	本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報				
						農林水産業等の人への影響※ ¹	生態系への影響※ ¹				佐世保市 長崎市	佐世保市（宇久を除く）	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長門町	時津町	東彼杵町	川棚町		波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町
昆虫類	1	スズメバチ	ツマアカスズメバチ	<i>Vespa velutina</i>	Ⅰ	◎	◎	ツマアカスズメバチ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																				【生息情報】 ・対馬市で2012年に初確認、国内で唯一定着が確認されている。 ・壱岐市で2017年に確認、駆除（5個体、巣1個）、2018年5月に1個体を確認後は確認されていない。 【被害・影響】 ・在来スズメバチとの競合による影響 ・ミツバチの捕食による養蜂への影響		
	2	カスミカメムシ	クスベニヒラタカスミカメ	<i>Mansonella cinnamomi</i>	Ⅱ					なし																				【被害・影響】 ・クスノキの加害昆虫。被爆クスノキや天然記念物で被害の報告あり。		
	3	ミバエ	ミカンコミバエ	<i>Bactrocera dorsalis</i>	Ⅲ			ミカンコミバエ / 国立環境研究所 侵入生物DB		なし																				【生息情報】 ・長崎県農林部のトラップ誘殺調査によると、2020年度に長崎市で1個体確認した後、2021年度に長崎市、佐世保市、西海市、諫早市、対馬市、大村市、時津町、佐々町、東彼杵町で合計128個体を確認したのが最多。 2022年度は確認されなかったが、2023年度に長崎市と長門町、2024年度に諫早市で確認されている。 【被害・影響】 ・ミカンの品質に大きな影響を与える農業害虫として注意が必要。		
	4	アゲハチョウ	ホソオチョウ（ホソオアゲハ）	<i>Sericanus montela</i>	Ⅳ		◎	ホソオチョウ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																						
	5	アリ	アカカミアリ	<i>Solenopsis geminata</i>	Ⅳ	◎	◎	アカカミアリ / 国立環境研究所 侵入生物DB	神戸市ヒアリ等対策マニュアル第2版(神戸市、平成31年1月改訂) kobe-hiari-manual.pdf	特定外来生物																					【生息情報】 外来アリ類は県内未確認。	
	6	アリ	アルゼンチンアリ	<i>Linepithema humile</i>	Ⅳ	◎	◎	アルゼンチンアリ / 国立環境研究所 侵入生物DB	Microsoft Word – アルゼンチンアリ防除マニュアル2013改訂(公表版)20131217修正(環境省 自然環境局野生生物課外来生物対策室)	特定外来生物																					【生息情報】 外来アリ類は県内未確認。	
	7	アリ	コカミアリ	<i>Wasmannia auropunctata</i>	Ⅳ	◎	◎		神戸市ヒアリ等対策マニュアル第2版(神戸市、平成31年1月改訂) kobe-hiari-manual.pdf	特定外来生物																					【生息情報】 外来アリ類は県内未確認。	
	8	アリ	ソレノプスイス・ヴィルレンス種群の全種	<i>Solenopsis virulens</i> species group	Ⅳ					特定外来生物																					【生息情報】 外来アリ類は県内未確認。	
	9	アリ	ソレノプスイス・ゲミナタ種群の全種※ ※アカカミアリ除く	<i>Solenopsis geminata</i> species group※ ※ <i>Solenopsis geminata</i> 除く	Ⅳ	◎	◎			特定外来生物																						【生息情報】 外来アリ類は県内未確認。
	10	アリ	ソレノプスイス・サエヴィシマ種群の全種※ ※ヒアリ含む	<i>Solenopsis saevissima</i> species group※ ※ <i>Solenopsis invicta</i> 含む	Ⅳ	◎	◎		神戸市ヒアリ等対策マニュアル第2版(神戸市、平成31年1月改訂) kobe-hiari-manual.pdf	特定外来生物																						【生息情報】 外来アリ類は県内未確認。
	11	アリ	ソレノプスイス・トウリデンス種群の全種	<i>Solenopsis tridens</i> species group	Ⅳ					特定外来生物																						【生息情報】 外来アリ類は県内未確認。
	12	アリ	ソレノプスイス属の4種群に属する種間の交雑により生じた生物		Ⅳ					特定外来生物																						【生息情報】 外来アリ類は県内未確認。
	13	アリ	ハヤトゲフシアリ	<i>Lepisiota frauenfeldi</i>	Ⅳ			ハヤトゲフシアリ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																						【生息情報】 外来アリ類は県内未確認。
	14	オサゾウムシ	カンショオサゾウムシ	<i>Rhabdoscelus obscurus</i>	Ⅳ	◎	◎	カンショオサゾウムシ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																						
	15	カミキリムシ	クビアカツヤカミキリ（クロジャコウカミキリ）	<i>Aromia bungii</i>	Ⅳ			クビアカツヤカミキリ / 国立環境研究所 侵入生物DB	クビアカツヤカミキリ防除対策マニュアル改訂第4版(栃木県、令和5年3月) manual_v4.pdf	特定外来生物																					【生息情報】 ・県内未確認。 【被害・影響】 ・サクラ、アンズ、モモを食害するため、今後入って来ると果樹や街路樹等に大きな被害が予想される。	
	16	カミキリムシ	サビイロクワカミキリ	<i>Apriona swainsoni</i>	Ⅳ			サビイロクワカミキリ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																						
	17	カミキリムシ	ツヤハダゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora glabripennis</i>	Ⅳ			ツヤハダゴマダラカミキリ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																						【生息情報】 ・県内未確認。 【被害・影響】 ・サクラ、アンズ、モモを食害するため、今後入って来ると果樹や街路樹等に大きな被害が予想される。
	18	カミキリムシ	ハラアカコブカミキリ	<i>Moechotypa diphyis</i>	Ⅳ				技術指導資料（平成26～30年度）／千葉県（シイタケ原木の害虫 ハラアカコブカミキリの生態と防除）	なし																					【生息情報】 ・対馬では在来種。ほだ木の流通等によって大分県等に分布を広げたとされている。 【被害・影響】 ・シイタケの害虫として農業被害あり。	

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・特定外来生物 ・条件付特定外来生物 ・定着予防外来種 ・総合対策外来種 ・産業管理外来種	確認された市町 赤色：これまでに確認されている。 橙色：情報あり。生息・生育が予想される。 黄色：過去に記録あり。現在は不明 黒色：過去に確認、駆除した。新しい情報なし。 空欄：情報なし 灰色：参考情報																	本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報					
						農林水産業等の人への影響※1	生態系への影響※1				佐世保市 長崎市	佐世保市 (宇久を除く)	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長門町	時津町	東彼杵町	川棚町		波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	
昆虫類	20	クワガタムシ	アングラートゥスマルバネクワガタ	Neolucanus angulatus	Ⅳ					特定外来生物																							
	19	クワガタムシ	ウォーターハウスマルバネクワガタ	Neolucanus waterhousei	Ⅳ					特定外来生物																							
	21	クワガタムシ	カツラマルバネクワガタ	Neolucanus katsuraorum	Ⅳ					特定外来生物																							
	22	クワガタムシ	ギガンテウスマルバネクワガタ	Neolucanus giganteus	Ⅳ					特定外来生物																							
	24	クワガタムシ	サンダースマルバネクワガタ	Neolucanus saundersii	Ⅳ					特定外来生物																							
	23	クワガタムシ	タナカマルバネクワガタ	Neolucanus tanakai	Ⅳ					特定外来生物																							
	25	クワガタムシ	バラデバマルバネクワガタ	Neolucanus baladeva	Ⅳ					特定外来生物																							
	26	クワガタムシ	ベラルマトゥスマルバネクワガタ	Neolucanus perarmatus	Ⅳ					特定外来生物																							
	27	クワガタムシ	マエダマルバネクワガタ	Neolucanus maedai	Ⅳ					特定外来生物																							
	28	クワガタムシ	マキシムスマルバネクワガタ	Neolucanus maximus	Ⅳ					特定外来生物																							
	29	コガネムシ	伊豆諸島などのリュウキュウツヤハナムグリ	Protaetia pryeri	Ⅳ			オオシマツヤハナムグリ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種 国内由来の外来種																							
	30	コガネムシ	外国産カブトムシ	Dynastinae Gen. spp.	Ⅳ			◎		定着予防外来種																							
	31	コガネムシ	外国産テナゴコガネ属	Cheironotus spp.	Ⅳ			◎		特定外来生物																							
	32	コガネムシ	クモテナゴコガネ属	Euchirus spp.	Ⅳ			◎		特定外来生物																							
	33	コガネムシ	シロテンハナムグリ台湾亜種（サカイシロテンハナムグリ）	Protaetia orientalis sakaii	Ⅳ			◎	サカイシロテンハナムグリ / 国立環境研究所 侵入生物DB	総合対策外来種																							
	34	コガネムシ	ヒメテナゴコガネ属	Propomacrus spp.	Ⅳ			◎		特定外来生物																							
	35	シジミチョウ	ムシャクロツバメシジミ	Tongeia filicudis	Ⅳ					なし																						【生息情報】 ・県内未確認。 【被害・影響】 ・侵入した場合、希少種のクロツバメシジミへの餌資源の競合による影響の可能性あり。	
36	スズメバチ	ナンヨウチビアシナガバチ	Ropalidia marginata	Ⅳ			ナンヨウチビアシナガバチ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
37	タテハチョウ	アカボシゴマダラ（ただし、アカボシゴマダラ奄美亜種を除く）	Hestina assimilis assimilis	Ⅳ			◎	アカボシゴマダラ / 国立環境研究所 侵入生物DB	特定外来生物																								
38	ドロバチ	チャイロネッタイスズバチ	Delta pyriforme	Ⅳ				チャイロネッタイスズバチ / 国立環境研究所 侵入生物DB	総合対策外来種																								
39	ハムシ	フェモラータオオモボトハムシ	Sagra femorata	Ⅳ					総合対策外来種																								
40	ミツバチ	アフリカミツバチとアフリカ化ミツバチ	Apis mellifera scutellata	Ⅳ			◎		定着予防外来種																								
41	ミツバチ	セイヨウオオマルハナバチ	Bombus terrestris	Ⅳ			◎	セイヨウオオマルハナバチ / 国立環境研究所 侵入生物DB	特定外来生物																								

※1 農林水産業等の人への影響、生態系への影響については、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（環境省、2015年）に掲載されている選定理由を参考に、一般的な影響について次のように区分した。

<農林水産業等の人への影響>

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅲ、植物の選定理由Ⅴに相当）

空欄：上記以外

<生態系への影響>

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅰ、植物の選定理由Ⅳに相当）

○：影響は大きくないものの交雑等で遺伝子攪乱が問題となる場合（動物の交雑種、植物の選定理由Ⅰに相当）

空欄：上記以外

陸生節足動物

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・特定外来生物 ・条件付特定外来生物 ・定着予防外来種 ・総合対策外来種 ・産業管理外来種	確認された市町 赤色：これまでに確認されている。 橙色：情報あり。生息・生育が予想される。 黄色：過去に記録あり。現在は不明 黒色：過去に確認、駆除した。新しい情報なし。 空欄：情報なし 灰色：参考情報																				本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報		
						農林水産業等の人への影響※1	生態系への影響※1				佐世保市 長崎市	佐世保市(宇久を除く)	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	杵岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町		新上五島町	
陸生節足動物	1	ヒメグモ	セアカゴケグモ	<i>Latrodectus hasseltii</i>	Ⅰ	◎		セアカゴケグモ / 国立環境研究所 侵入生物DB	福岡県侵略的外来種防除マニュアル2021ー福岡県侵略的外来種リスト2018における重点対策外来種20種(福岡県環境部自然環境課、令和4年3月発行) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/169206.pdf	特定外来生物																						【生息情報】 ・資材等に付着して侵入。大村市(2016年8月)に自衛隊駐屯地内で確認、駆除活動が継続されている。 【被害・影響】 ・攻撃性は高くないが、メスが毒を持っており咬まれると痛むほか、重症化する場合もある。	
	2	ヤケヤスデ	ヤンバルトサカヤスデ	<i>Chamberlinius hualienensis</i>	Ⅱ			ヤンバルトサカヤスデ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																						【生息情報】 ・長崎市の高浜ダム周辺に生息。 【被害・影響】 ・屋内に入り、不快害虫として有名。在来のヤスデ類と生息場や餌を巡る競合が起きる可能性があるので、今後注意が必要。 【対策】 ・落ち葉や腐食した植物を餌としており、住宅地周辺においては落ち葉除去が有効。	
	3	ジョウゴグモ	キノボリジョウゴグモ属の全種	<i>Hadronyche</i> spp.	Ⅳ	◎				特定外来生物																							
	4	キョクトウサソリ	キョクトウサソリ科の全種	<i>Buthidae</i> Gen. spp.	Ⅳ	◎				特定外来生物																							【生息情報】 ・県内未確認。他県では、定着していないものの過去に国内へペットとして持ち込まれたものや偶然侵入した事例あり。
	5	ヒメグモ	クロゴケグモ	<i>Latrodectus mactans</i>	Ⅳ	◎		クロゴケグモ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																							【生息情報】 ・県内未確認。山口県岩国市の米軍駐屯地内での侵入、定着確認。
	6	ヒメグモ	ゴケグモ属の全種※ ※アカオビゴケグモ、ジュウサンボシゴケグモ、ハイイロゴケグモ、セアカゴケグモ、クロゴケグモ除く	<i>Latrodectus</i> spp.※ ※ <i>L. elegans</i> 、 <i>L. tredecimguttatus</i> 、 <i>L. geometricus</i> 、 <i>L. hasseltii</i> 、 <i>L. mactans</i> 除く	Ⅳ					特定外来生物																							【生息情報】 ・県内未確認。
	7	ジョウゴグモ	シドニージョウゴグモ属の全種	<i>Atrax</i> spp.	Ⅳ	◎				特定外来生物																							
	8	ヒメグモ	ジュウサンボシゴケグモ	<i>Latrodectus tredecimguttatus</i>	Ⅳ	◎				特定外来生物																							
	9	ヒメグモ	ハイイロゴケグモ	<i>Latrodectus geometricus</i>	Ⅳ	◎		ハイイロゴケグモ / 国立環境研究所 侵入生物DB	福岡県侵略的外来種防除マニュアル2021ー福岡県侵略的外来種リスト2018における重点対策外来種20種(福岡県環境部自然環境課、令和4年3月発行) https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/169206.pdf	特定外来生物																							
	10	イトグモ	ロクソスケレス・ガウコ	<i>Loxosceles gaucho</i>	Ⅳ	◎				特定外来生物																							
	11	イトグモ	ロクソスケレス・ラエタ	<i>Loxosceles laeta</i>	Ⅳ	◎				特定外来生物																							
	12	イトグモ	ロクソスケレス・レクルサ(ドクイトグモ)	<i>Loxosceles reclusa</i>	Ⅳ	◎				特定外来生物																							

※1 農林水産業等の人への影響、生態系への影響については、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（環境省、2015年）に掲載されている選定理由を参考に、一般的な影響について次のように区分した。

<農林水産業等の人への影響>

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅲ、植物の選定理由Ⅴに相当）

空欄：上記以外

<生態系への影響>

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅰ、植物の選定理由Ⅳに相当）

○：影響は大きくないものの交雑等で遺伝子攪乱が問題となる場合（動物の交雑種、植物の選定理由Ⅰに相当）

空欄：上記以外

その他無脊椎動物

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・ 高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ 低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・ 特定外来生物 ・ 条件付特定外来生物 ・ 定着予防外来種 ・ 総合対策外来種 ・ 産業管理外来種	確認された市町																		本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報						
						農林水産業等の人への影響※1	生態系への影響※1				佐世保市	佐世保市（宇久を除く）	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町	川棚町	波佐見町		小値賀町	佐々町	新上五島町			
											長崎市	佐世保市	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町	川棚町	波佐見町		小値賀町	佐々町	新上五島町			
その他無脊椎動物	1	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	Ⅰ		◎	アメリカザリガニ / 国立環境研究所 侵入生物DB	条件付特定外来生物 アメリカザリガニ防除マニュアル(環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室、令和5年3月) r.amezari.boujo.manual.pdf	条件付特定外来生物																							【生息情報】 ・ 島原市の白土湖では過去に記録あり。（近藤善昭, 1977. 白土湖の生物（Ⅰ）島原のアメリカザリガニについて、長崎県生物学会誌、(14)：27-29.） 【被害・影響】 ・ 五島市ではアメリカザリガニによる捕食や生態系の改変によりヒメミズスマシやオグラコウホネ等の水生生物に深刻な影響が出ている。（大庭伸也・大串俊太郎・田中颯真・山本 賢・本木和幸・上田浩一, 2018. 福江島・五島市三井楽町におけるアメリカザリガニの駆除の現状と課題）		
	2	ヌマエビ	シナヌマエビ	<i>Neocaridina denticulata</i>	Ⅱ					なし																							【生息情報】 ・ 佐世保市小森川の個体はシナヌマエビの可能性あり。 【被害・影響】 ・ 在来エビ類との生息地の競合、遺伝子攪乱の恐れあり。 【対応】 ・ 捕獲による駆除は難しく、販売店等における野外放流の影響に関する普及啓発が重要。		
	3	リンゴガイ	スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）	<i>Pomacea canaliculata</i>	Ⅱ	◎			九州沖縄農業研究センタースクミリンゴガイ農研機構	総合対策外来種																								【被害・影響】 ・ 田植え初期に稲を食害する。 ・ 薬剤散布駆除は、他の生物にも作用し、間接的影響を受ける生物もいるため注意が必要。 ・ 希少種への間接的影響として、スクミリンゴガイ駆除で強毒性「サボニン」を含む椿油のカスがまかれ、産卵床のドブガイがいなくなった結果、ニッポンバラタナゴもいなくなった例あり。 【対応】 ・ 農業等が普及しており、駆除もされている。 ・ 共有利用する農業車両等に付着し拡散する可能性があり、利用後の付着確認・洗浄が望ましい。	
	4	アフェレンクス	マツノザイセンチュウ	<i>Bursaphelenchus xylophilus</i>	Ⅱ	◎	◎	マツノザイセンチュウ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								【被害・影響】 ・ 松くい虫被害を起こす線虫。	
	5	アメリカザリガニ	ミステリークレイフィッシュ	<i>Procambarus fallax</i>	Ⅲ			ミステリークレイフィッシュ / 国立環境研究所 侵入生物DB		定着予防外来種																								【生息情報】 ・ 川棚町の川棚川で生息情報あり。	
	6	イガイ	コウロエンカワヒバリガイ	<i>Xenostrobus securis</i>	Ⅲ	◎	◎	コウロエンカワヒバリガイ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																									
	7	イガイ	ミドリイガイ	<i>Perna viridis</i>	Ⅲ	◎	◎	ミドリイガイ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																									
	8	イガイ	ムラサキイガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>	Ⅲ	◎	◎	ムラサキイガイ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																									
	9	カリバガサ	シマメノウフネガイ	<i>Crepidula onyx</i>	Ⅲ					総合対策外来種																									
	10	シジミ	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>	Ⅲ		◎	タイワンシジミ提群 / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																									
	11	ヌルスダレガイ	シナハマグリ	<i>Meretrix petechialis</i>	Ⅲ	◎	◎	シナハマグリ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																									
	12	フジツボ	アメリカフジツボ	<i>Amphibalanus eburneus</i>	Ⅲ					総合対策外来種																									【生息情報】 ・ 内湾性の種。類似種との混同、バラスト水や船体等への付着による分布拡大の可能性あり。
	13	フジツボ	タテジマフジツボ	<i>Amphibalanus amphitrite</i>	Ⅲ	◎		タテジマフジツボ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																									【生息情報】 ・ 内湾性の種で、橋湾（長崎市茂木町）で確認。バラスト水や船体等への付着による分布拡大の可能性あり。
	14	フジツボ科	ヨーロッパフジツボ	<i>Amphibalanus improvisus</i>	Ⅲ					総合対策外来種																									【生息情報】 ・ 内湾性の種。類似種との混同、バラスト水や船体等への付着による分布拡大の可能性あり。
	15	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ	<i>Crangonyx floridanus</i>	Ⅲ			フロリダマミズヨコエビ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																									【生息情報】 ・ 長崎市(2018年(浦上川)新聞記事4/10)、五島市(2003年(福江川))
	16	ムシロガイ	カラムシロ	<i>Nassarius sinarus</i>	Ⅲ	◎	◎			総合対策外来種																									
	17	モノアラガイ	ハブタエモノアラガイ	<i>Lymnaea columella</i>	Ⅲ					総合対策外来種																									
	18	アジアザリガニ	アジアザリガニ科の全種※ ※ニホンザリガニ除く	Cambaroididae Gen. spp.※ ※ <i>Cambaroides japonicus</i> 除く	Ⅳ					特定外来生物																									
	19	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ科の全種※ ※アメリカザリガニ除く	Cambaridae Gen. spp.※ ※ <i>Procambarus clarkii</i> 除く	Ⅳ					特定外来生物																									
	20	アメリカザリガニ	ラスティークレイフィッシュ	<i>Orconectes rusticus</i>	Ⅳ		◎			特定外来生物																									
	21	アフリカマイマイ	アフリカマイマイ	<i>Achatina fulica</i>	Ⅳ	◎	◎		アフリカマイマイ防除マニュアル(鹿児島県、令和6年3月29日現在) 72338_20190520154614-1.pdf	総合対策外来種																									
	22	イガイ	カワヒバリガイ属	<i>Limnoperna</i> spp.	Ⅳ	◎	◎	カワヒバリガイ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																									
	23	オカチョウジガイ	オオクビキレガイ	<i>Rumina decollata</i>	Ⅳ					総合対策外来種																									

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・ 高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ 低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・ 特定外来生物 ・ 条件付特定外来生物 ・ 定着予防外来種 ・ 総合対策外来種 ・ 産業管理外来種	確認された市町																		本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報					
						農林水産業等の人への影響※1	生態系への影響※1				確認された市町																							
											佐世保市 佐久を除く 長崎市	佐世保市 宇久町	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町	川棚町	波佐見町		小値賀町	佐々町	新上五島町		
その他無脊椎動物	24	カワホトトギス	イガイダマシ	Mytilopsis sallei	Ⅳ	◎	◎	イガイダマシ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	25	カワホトトギス	クワツガガイ	Dreissena bugensis	Ⅳ	◎	◎			特定外来生物																								
	26	カンザシゴカイ	カサネカンザシ	Hydroides elegans	Ⅳ	◎		カサネカンザシ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	27	カンザシゴカイ	カニヤドリカンザシ	Ficopomatus enigmaticus	Ⅳ	◎	◎	カニヤドリカンザシ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	28	カワホトトギス	カワホトトギスガイ	Dreissena polymorpha	Ⅳ	◎	◎			特定外来生物																								
	29	コウラナメクジ	マダラコウラナメクジ	Limax maximus	Ⅳ					総合対策外来種																								
	30	ザリガニ	アスタクス属	Astacus spp.	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	31	ザリガニ	ウチダザリガニ（タンカイザリガニを含む）	Pacifastacus leniusculus	Ⅳ		◎	ソナメソソガニ（ソソガニ科） / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																								
	32	ザリガニ	ザリガニ科の全種※ ※アスタクス属、ウチダザリガニ（タンカイザリガニを含む）を除く	Astacidae Gen. spp.※ ※Astacus spp.、Pacifastacus	Ⅳ					特定外来生物																								
	33	スピラクスィダエ	ヤマヒタチオビ	Euglandina rosea	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	34	タマガイ	自然分布域外のサキグロタマツメ	Euspira fortunei	Ⅳ	◎	◎			総合対策外来種 国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種																								
	35	テナガエビ	チュウゴクスジエビ	Palaemon sinensis	Ⅳ					なし																							【生息情報】 ・自然環境下において県内未確認だが、佐世保市で釣り餌として売られており、侵入は時間の問題。 【被害・影響】 ・在来エビ類との生息地の競合、遺伝子攪乱の恐れあり。 【対応】 ・捕獲による駆除は難しく、販売店等における野外放流の影響に関する普及啓発が重要。	
	36	ナツメボヤ	ヨーロッパザラボヤ	Ascidella aspersa	Ⅳ	◎				総合対策外来種																								
	37	フジツボ	キタアメリカフジツボ	Balanus glandula	Ⅳ					総合対策外来種																								
	38	Bolinopsidae	ムネミオブシス・レイディ	Mnemiopsis leidyi	Ⅳ		◎			定着予防外来種																								
	39	マルスダレガイ	ホンビノスガイ	Mercenaria mercenaria	Ⅳ					総合対策外来種																								
	40	ミナミザリガニ	ケラクス属	Cherax spp.	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	41	ミナミザリガニ	ミナミザリガニ科の全種※ ※ケラクス属を除く	Parastacidae Gen. spp.※ ※Cherax spp.を除く	Ⅳ					特定外来生物																								
	42	ミズツボ	コモチカワツボ	Potamopyrgus antipodarum	Ⅳ					総合対策外来種																								
	43	モクズガニ	外国産モクズガニ属	Eriocheir spp.	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	44	ヤリガタリクズムシ	ニューギニアヤリガタリクズムシ	Platydemus manokwari	Ⅳ		◎	ニューギニアヤリガタリクズムシ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																								
	45	ヨコエビ	ディケログマルス・ヴィロース	Dikergammarus vilosus	Ⅳ		◎			特定外来生物																								
	46	リンゴガイ	ラブラタリンゴガイ	Pomacea insularum	Ⅳ		◎			総合対策外来種																								
	47	ワタリガニ	チチュウカイミドリガニ	Carcinus aestuarii	Ⅳ			チチュウカイミドリガニ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								
	48	ワタリガニ	ヨーロッパミドリガニ	Carcinus maenus	Ⅳ		◎			定着予防外来種																								

※1 農林水産業等の人への影響、生態系への影響については、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（環境省、2015年）に掲載されている選定理由を参考に、一般的な影響について次のように区分した。

<農林水産業等の人への影響>

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅲ、植物の選定理由Ⅴに相当）

空欄：上記以外

<生態系への影響>

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅰ、植物の選定理由Ⅳに相当）

○：影響は大きくないものの交雑等で遺伝子攪乱が問題となる場合（動物の交雑種、植物の選定理由Ⅰに相当）

空欄：上記以外

植物

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・特定外来生物 ・条件付特定外来生物 ・定着予防外来種 ・総合対策外来種 ・産業管理外来種	確認された市町 赤色：これまでに確認されている。 橙色：情報あり。生息・生育が予想される。 黄色：過去に記録あり。現在は不明 黒色：過去に確認、駆除した。新しい情報なし。 空欄：情報なし 灰色：参考情報																	本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報							
						農林水産業等の人への影響※1	生態系への影響※1				佐世保市 宇久を除く 長崎市	佐世保市 宇久町	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町	川棚町		波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町			
植物	1	カタバミ	オオキバナカタバミ（キイロハナカタバミ）	<i>Oxalis pes-caprae</i>	Ⅰ	◎	オオキバナカタバミ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							【被害・影響】 ・海岸の自然植生を脅かしている。五島市では天然記念物の場所にも入っている。 【対応】 ・五島市では住民の協力で駆除を実施。根の先端や地中深い位置にできる球根が少しでも残ると復活するため注意が必要。			
	2	アカウキクサ	外来アゾラ属「但し、アゾラクリスタータ」	<i>Azolla cristata</i>	Ⅱ	◎	アゾラ・クリスタータ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																							【生育状況】 ・県内各地に広がっているものと思われる。ため池や放棄水田を被っており、駆除は難しい。 【被害・影響】 ・本種は水鳥の足に付着し、止水域に運ばれることがある。一株入っただけで広範囲に広がる恐れあり。ハス田に侵入すると水温が上がらず農家から嫌がられる。在来のアカウキクサが駆逐された可能性あり。			
	3	アリノトウグサ	オオフサモ	<i>Myriophyllum aquaticum</i>	Ⅱ	◎	オオフサモ / 国立環境研究所 侵入生物DB	福岡県侵略的外来種防除マニュアル2021ー福岡県侵略的外来種リスト2018 における重点対策外来種20 種（福岡県環境部自然環境課 令和4年3月発行） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/169206.pdf	特定外来生物																								【生育状況】 ・河川、ため池、水路、学校ビオトープに侵入。 【被害・影響】 ・日光を遮断するため、水生植物全てに影響を与える。		
	4	イネ	ヨシススキ（サッカラム パーブルビーブルグリーター）	<i>Saccharum arundinaceum</i>	Ⅱ	◎			総合対策外来種																								【生育情報】 ・林縁部や法面で見られる草丈3～4mのイネ科植物。 【被害・影響】 ・被害はまだ大きくないが、今後の分布拡大により在来植物の生育環境が奪われる恐れあり。 ・おそらくシカは食べないため、他の植物がシカに食べられ空いた場所に入り込む。 【対応】 ・離島等でシカの多い場所では、本種が多く入り込む可能性があるため早急な防除が必要。		
	5	キク	オオブタクサ（クワモドキ）	<i>Ambrosia trifida</i>	Ⅱ	◎	オオブタクサ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																								【生育情報】 ・県内では、30年前島原で初確認され、現在最も多い地域。 ・最近増えており、未確認地域でも生育している可能性あり。 【被害・影響】 ・種子は飛んでいかず分布は広がりにくいが、確実に発芽し在来植物の生育環境を奪う。 【対応】 ・河川への侵入個体は除去が望ましく、根を抜くことで簡単に駆除できる。		
	6	キク	タチアワユキセンダングサ（オオバナセンダングサ）	<i>Bidens pilosa</i> var. <i>radiata</i>	Ⅱ	◎	タチアワユキセンダングサ / 国立環境研究所 侵入生物DB	センダングサ類防除マニュアル(鹿児島県、令和6年3月29日現在) 72338_202005111115130-1.pdf	総合対策外来種																									【生育情報】 ・五島市で最も多い。長崎県南部から分布域が広がる。佐世保市内にも入り始めている。 【被害・影響】 ・自然植生への影響は少ないものの、根茎と種子の両方で増え、繁殖力が強く急速に広がる。	
	7	トウダイグサ	屋久島などのアブラギリ（ドクエ）	<i>Vernicia cordata</i>	Ⅱ	◎			総合対策外来種 国内由来の外来種																									【被害・影響】 ・樹冠が広く、林床に光が届かなくなり、下草が生えなくなる。成長が早く優占しやすい。	
	8	トチカガミ	オオカナダモ（アナカリス）	<i>Egeria densa</i>	Ⅱ	◎	オオカナダモ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																									【被害・影響】 ・侵入すると水面を覆いつくし、在来の沈水植物の生息環境を奪う。学校ビオトープに侵入。 【対応】 ・切れ藻で分布拡大するため駆除時は完全に除去する必要がある。 ・希少種のグンバイトンボ、セスジイトンボの産卵場にもなっている。本種を駆除すると、産卵場がなくなる可能性あり、トンボ類生息地では駆除の実施が難しい側面もある。	
	9	ハマミズナ	バクヤギク	<i>Carpobrotus edulis</i>	Ⅱ	◎		福岡県侵略的外来種防除マニュアル2021ー福岡県侵略的外来種リスト2018 における重点対策外来種20 種（福岡県環境部自然環境課 令和4年3月発行） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/169206.pdf	総合対策外来種																									【被害・影響】 ・海岸の自然植生の中にも侵入し、在来種を駆逐する可能性がある。	
	10	ヒユ	ナガエツルノゲイトウ	<i>Alternanthera philoxeroides</i>	Ⅱ	◎	◎	ナガエツルノゲイトウ / 国立環境研究所 侵入生物DB	ナガエツルノゲイトウの駆除対策について、農林水産省	特定外来生物																								【被害・影響】 ・ため池等の水面を覆い尽くすため、水質の悪化や在来種の生息環境を奪う。 ・田畑で繁茂すると作物を覆い、生育不良が生じる。 【対応】 ・繁殖力、再生力が非常に高く、茎や根が一部でも残っているとそこから再生するため、完全な除去が必要。刈り払いのみでの対応は断片からの爆発的な繁茂や拡散の原因になる。	
	11	ヒルガオ	外来ノアサガオ類	<i>Ipomoea</i> spp. (<i>Pharbitis</i> spp.)	Ⅱ	◎	◎			総合対策外来種																									【生育情報】 ・特にオオバアメリカアサガオは注目すべき種。西彼杵半島で多い。 【被害・影響】 ・クズのように林縁・樹冠を覆いつくし、樹木の光合成を妨げる。 ・長崎県は在来ノアサガオの世界的な自生地の北限地にあたり、貴重な場所。野母崎(諫峠町)では、両種が隣接して生育しており、交雑の懸念あり。 【対応】 ・一旦入り込むと駆除困難。「オーシャンブルー」という品種名で店頭販売されており、店頭などでの普及啓発が重要。 ・植物体の断片からも生え、刈り取った断片の投棄場所から非意図的に広がっている可能性あり、完全な除去が必要。
	12	モクセイ	トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>	Ⅱ	◎	◎	トウネズミモチ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																									【生育情報】 ・島原半島で多い。鳥散布で広がり自然植生にも入り込む。5～6月の花期は判別容易。 【被害・影響】 ・在来植物との競合、交雑が懸念される。
	13	リュウゼツラン	アツバキミガヨラン	<i>Yucca gloriosa</i>	Ⅱ	◎	◎			総合対策外来種																									【生育情報】 ・海岸砂浜に生育。 【被害・影響】 ・海岸砂浜の自然植生への影響が懸念される。 【対応】 ・草刈りしても、残った根や刈り取った植物体の放置により、そこから再生する。根ごと掘り取り、焼却処分する必要あり。
	14	アオイ	フヨウ	<i>Hibiscus mutabilis</i>	Ⅲ		○			総合対策外来種																									
	15	アカネ	オオフタバムグラ	<i>Diodia teres</i>	Ⅲ		◎	オオフタバムグラ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																									
	16	アカバナ	コマツヨイグサ	<i>Oenothera lacinata</i>	Ⅲ		◎	コマツヨイグサ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																									【生育情報】 ・ほとんどの海浜に侵入している。
	17	アブラナ	オランダガラシ	<i>Nasturtium officinale</i>	Ⅲ	◎	◎	オランダガラシ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																									【生育情報】 ・多くの河川でみられる。
	18	アブラナ	セイヨウカラシナ（カラシナ）	<i>Brassica juncea</i>	Ⅲ		◎			総合対策外来種																									
	19	アヤメ	キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i>	Ⅲ		◎	キショウブ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																									【生育情報】 ・放棄水田に侵入している。
	20	アヤメ	ヒメヒオウギズイセン（ヒメヒオウギズイセン、モントブレチア）	<i>Crocossia × crocosmiiflora</i>	Ⅲ		◎			総合対策外来種																									
	21	イネ	アメリカスズメノヒエ（バヒアグラス、オニスズメノヒエ）	<i>Paspalum notatum</i>	Ⅲ		◎			産業管理外来種																									
	22	イネ	オオアワガエリ（チモシー）	<i>Phleum pratense</i>	Ⅲ		◎	オオアワガエリ / 国立環境研究所 侵入生物DB		産業管理外来種																									

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・ 高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ 低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・ 特定外来生物 ・ 条件付特定外来生物 ・ 定着予防外来種 ・ 総合対策外来種 ・ 産業管理外来種	確認された市町																	本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報					
						農林水産業等の人への影響※1	生態系への影響※1				佐世保市（宇久を除く）																						
											長崎市	佐世保市	宇久市	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	杵岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町		川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町
	101	バラ	ビラカンサ類	<i>Pyracantha</i> spp.	Ⅲ		◎			総合対策外来種																							
	102	バラ	ビワ（ヒワ）	<i>Eriobotrya japonica</i>	Ⅲ		◎			産業管理外来種																							
	103	ヒメハギ	ヨーロッパヒメハギ	<i>Polygala vulgaris</i>	Ⅲ					なし																						【生育情報】 ・ 日本では長崎市で初めて確認。 【被害・影響】 ・ 悪影響はあまりない。	
植物	104	ヒルガオ	アメリカネナシカズラ	<i>Cuscuta pentagona</i>	Ⅲ		◎	アメリカネナシカズラ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							
	105	ヒルガオ	ホシアサガオ	<i>Ipomoea triloba</i>	Ⅲ	◎	◎			総合対策外来種																							
	106	ヒルガオ	モミジバヒルガオ（タイワンアサガオ、モミジヒルガオ）	<i>Ipomoea cairica</i>	Ⅲ		◎			総合対策外来種																							
	107	マタタビ	キウイフルーツ（シナサルナシ）	<i>Actinidia chinensis</i> var. <i>deliciosa</i>	Ⅲ		◎			産業管理外来種																							
	108	マメ	アレチヌスビトハギ	<i>Desmodium paniculatum</i>	Ⅲ		◎	アレチヌスビトハギ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							
	109	マメ	イタチハギ（クロバナエンジュ）	<i>Amorpha fruticosa</i>	Ⅲ	◎	◎	イタチハギ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							
	110	マメ	エニシダ（エニスダ）	<i>Cytisus scoparius</i>	Ⅲ		◎			総合対策外来種																							
	111	マメ	外来クサフジ類（ビロードクサフジ（ヘアリーベッチ、シラゲクサフジ）、ナヨクサフジ（スムーズベッチ））	<i>Vicia villosa</i> ssp. <i>villosa</i> 、 <i>V. villosa</i> ssp. <i>varia</i>	Ⅲ		◎			産業管理外来種																							
	112	マメ	ギンネム（ギンゴウカン、タマザキセンナ）	<i>Leucaena leucocephala</i>	Ⅲ		◎	ギンネム / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							
	113	マメ	ソウシジュ（タイワンアカシア）	<i>Acacia confusa</i>	Ⅲ		◎			総合対策外来種																							
	114	マメ	ハリエンジュ（ニセアカシア）	<i>Robinia pseudoacacia</i>	Ⅲ		◎	ハリエンジュ / 国立環境研究所 侵入生物DB		産業管理外来種																							
	115	ミズアオイ	ホテイアオイ（ウォーターヒヤシンス）	<i>Eichhornia crassipes</i>	Ⅲ		◎	ホテイアオイ / 国立環境研究所 侵入生物DB	福岡県侵略的外来種防除マニュアル2021ー福岡県侵略的外来種リスト2018における重点対策外来種20種（福岡県環境部自然環境課、令和4年3月発行） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/169206.pdf	総合対策外来種																						【生育情報】 ・ 各地のため池に生育。ビオトープで人為的に植えられることも多い。昭和時代には園芸スイレンとともにリン等の栄養塩を吸収させる水質浄化目的で積極的に植えられた経緯あり。	
	116	ムクロジ	コフウセンカズラ	<i>Cardiospermum halicacabum</i> var. <i>microcarpum</i>	Ⅲ		◎			総合対策外来種																							【被害・影響】 ・ 競争に弱く、悪影響なし。
	117	メギ	ヒイラギナンテン	<i>Berberis japonica</i>	Ⅲ		◎			総合対策外来種																							【生育情報】 ・ 未確認の市町村にも生育の可能性あり。
	118	ヤシ	九州北部以北の森林内などのシュロ類	<i>Trachycarpus</i> spp.	Ⅲ		◎	シュロ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種 国内由来の外来種																							
	119	ユリ	シンテツボユリ（新鉄砲ユリ、タカサゴユリ）	<i>Lilium</i> × <i>formolagi</i>	Ⅲ		○	タカサゴユリ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							【生育情報】 ・ 本土よりも五島が多い。島嶼部では、外来種の拡大傾向が大きい印象。
	120	ユリ	ハナニラ（セイヨウアマナ）	<i>Ipheion uniflorum</i>	Ⅲ		◎			総合対策外来種																							
	121	リュウゼツラン	アオノリュウゼツラン（リュウゼツラン）	<i>Agave americana</i>	Ⅲ		◎			総合対策外来種																							
	122	アカザ	ホコガタアカザ	<i>Atriplex prostrata</i>	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	123	アカバナ	アメリカミズユキノシタ（ルドウィジア・レベンス）	<i>Ludwigia repens</i>	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	124	アカバナ科	オオバナミズキンバイなどを含むルドウィギア・グランディフロラ	<i>Ludwigia grandiflora</i> (L. <i>grandiflora</i> ssp. <i>grandiflora</i>)	Ⅳ	◎	◎	ルドウィギア・グランディフロラ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																							
	125	アブラナ	ハルザキヤマガラシ（セイヨウヤマガラシ）	<i>Barbarea vulgaris</i>	Ⅳ		◎	ハルザキヤマガラシ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							
	126	アブラナ	オニハマダイコン	<i>Cakile edentula</i>	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	127	アワゴケ	イケノミズハコベ	<i>Callitriche stagnalis</i>	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	128	イネ	オオハマガヤ（アメリカハマニク、アメリカカイガンソウ）	<i>Ammophila breviligulata</i>	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	129	イネ	スバルティナ属	<i>Spartina</i> spp.	Ⅳ		◎	スバルティナ・アルテルニフロラ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																							
	130	イネ	ダイサンチク（タイサンチク）	<i>Bambusa vulgaris</i>	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	131	イネ	ビーチグラス	<i>Ammophila arenaria</i>	Ⅳ		◎			特定外来生物																							
132	イネ	ムラサキカオススキ	<i>Saccharum formosanum</i> var. <i>pollinioides</i>	Ⅳ		◎			総合対策外来種																								
133	イグサ	コゴメイ	<i>Juncus</i> sp.	Ⅳ		◎			総合対策外来種																								
134	イワツタ	変異種のイチイヅタ（キラー海藻）	<i>Caulerpa taxifolia</i>	Ⅳ		◎			定着予防外来種 国内由来の外来種																								
135	ウキゴケ	ウロコハタケゴケ	<i>Riccia lamellosa</i>	Ⅳ		◎			総合対策外来種																								
136	ウキゴケ	サビイロハタケゴケ	<i>Riccia nigrella</i>	Ⅳ		◎			総合対策外来種																								
137	ウコギ	シェフレラ・アクチノフィラ（ブラッサイア、オクトパスツリー）	<i>Schefflera actinophylla</i>	Ⅳ		◎			定着予防外来種																								

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・ 高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ 低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすお そのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・ 特定外来生物 ・ 条件付特定外来生物 ・ 定着予防外来種 ・ 総合対策外来種 ・ 産業管理外来種	確認された市町 赤色：これまでに確認されている。 橙色：情報あり。生息・生育が予想される。 黄色：過去に記録あり。現在は不明 黒色：過去に確認、駆除した。新しい情報なし。 空欄：情報なし 灰色：参考情報																				本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報		
						農林水産業等の人へ の影響※1	生態系への影響※1				佐世保市 (宇久を除く)	長崎市	佐世保市宇久町	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町		佐々町	新上五島町
植物	138	オオバコ	高山帯のオオバコ	Plantago asiatica	Ⅳ		◎			総合対策外来種 国内由来の外来種																							
	139	オモダカ	ナガバオモダカ（ジャイアントサ ジタリア）	Sagittaria weatherbiana	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	140	オモダカ	ヒロハオモダカ（ジャイアントサ ジタリア）	Sagittaria platyphylla	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	141	カエデ	ノルウェーカエデ（ヨーロッパカ エデ）	Acer platanoides	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	142	カエデ	アメリカハナノキ（ベニカエデ）	Acer rubrum	Ⅳ		○			定着予防外来種																							
	143	ガガイモ	オオバナアサガオ（インドゴムカ ズラ）	Cryptostegia grandiflora	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	144	カバノキ	ヨーロッパハンノキ（オウシュウ クロハンノキ）	Alnus glutinosa	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	145	カヤツリグサ	アサハタヤガミスゲ	Carex longii	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	146	カヤツリグサ	アメリカヤガミスゲ	Carex scoparia	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	147	キク	アメリカオニアザミ	Cirsium vulgare	Ⅳ		◎		アメリカオニアザミ / 国 立環境研究所 侵入生物DB	総合対策外来種																							
	148	キク	アメリカハマグルマ（ミツバハマ グルマ）	Sphagneticola trilobata	Ⅳ		◎		アメリカハマグルマ / 国 立環境研究所 侵入生物DB	総合対策外来種																							
	149	キク	キバナコウリンタンポポ（ノハラ タンポポ、キバナノコリンタンポ ポ）	Hieracium caespitosum	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	150	キク	コウリンタンポポ（エフデタンポ ポ）	Hieracium aurantiacum	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	151	キク	タワダギク	Pluchea odorata	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	152	キク	ツルヒヨドリ（ツルギク、ミカニ ア・ミクランサ）	Mikania micrantha	Ⅳ		◎		ツルヒヨドリ / 国立環境 研究所 侵入生物DB	特定外来生物																							
	153	キク	ネバリノギク	Aster novae-angliae	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	154	キク	ヒマワリヒヨドリ	Chromolaena odorata	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	155	キク	マルバフジバカマ（ユーバトリウ ム・チョコレート）	Eupatorium rugosum	Ⅳ		◎		マルバフジバカマ / 国立 環境研究所 侵入生物DB	総合対策外来種																							
	156	キク	ミズヒマワリ	Gymnocoronis spilanthoides	Ⅳ		◎		ミズヒマワリ / 国立環境 研究所 侵入生物DB	特定外来生物																							
	157	キク	ユウゼンギク	Aster novi-belgii	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	158	キツネノマゴ	ベンガルヤハズカズラ（ウリバ ローレルカズラ）	Thunbergia grandiflora	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	159	ギョリュウ	タマリクス属雑種（ギョリュウ）	Tamarix ×hybrid	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	160	グミ	ホソグミ（ロシアンオリーブ）	Elaeagnus angustifolia	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	161	クマツヅラ	ナガボソウ属	Stachytarpheta spp.	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	162	クワ	小笠原諸島などのガジュマル	Ficus microcarpa	Ⅳ		◎			総合対策外来種 国内由来の外来種																							
	163	クワ	小笠原諸島などのシマグワ	Morus australis	Ⅳ		◎			総合対策外来種 国内由来の外来種																							
	164	クワ	バンノキ	Artocarpus altilis	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	165	クワ	フランスゴムノキ（コバノゴムビ ワ）	Ficus rubiginosa	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	166	ケシ	白山などの高山帯のコマクサ	Dicentra peregrina	Ⅳ		◎			総合対策外来種 国内由来の外来種																							
	167	ケシ	ハカマオニゲシ（ボタンゲシ）	Papaver bracteatum	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	168	ゴマノハグサ	ハビコリハコベ（グロッススティ グマ）	Glossostigma elatinoides	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							【生育情報】 ・ 40年前に日本に入り、切れ葉で分布拡大する。
	169	セリ	ドクニンジン	Conium maculatum	Ⅳ		◎	◎	ドクニンジン / 国立環境 研究所 侵入生物DB	総合対策外来種																							
	170	タデ	カライタドリ	Fallopia forbesii	Ⅳ		◎	◎		総合対策外来種																							
	171	タデ	山地のギシギシ	Rumex japonicus	Ⅳ		◎	◎		総合対策外来種 国内由来の外来種																							

分類群	No.	科名	和名	学名	対策緊急度ランク ・高Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ＞Ⅳ低	環境省「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で評価された影響		基本情報	防除マニュアル (長崎県以外の機関作成分)	環境省選定状況 ・特定外来生物 ・条件付特定外来生物 ・定着予防外来種 ・総合対策外来種 ・産業管理外来種	確認された市町 赤色：これまでに確認されている。 橙色：情報あり。生息・生育が予想される。 黄色：過去に記録あり。現在は不明 黒色：過去に確認、駆除した。新しい情報なし。 空欄：情報なし 灰色：参考情報																				本県における生息・生育、被害・影響に関して得られている具体的な情報		
						農林水産業等の人への影響※1	生態系への影響※1				佐世保市 (宇久を除く) 長崎市	佐世保市宇久町	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	杵岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	長与町	時津町	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町		新上五島町	
植物	172	タヌキモ	ウトリクラリア・プラテンシス	Utricularia platensis	Ⅳ					特定外来生物																							
	173	タヌキモ	エフクレタヌキモ	Utricularia inflata	Ⅳ		◎	エフクレタヌキモ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																							
	174	タヌキモ	オオバナイトタヌキモ (ウトリクラリア・ギッパ)	Utricularia gibba	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	175	ツリフネソウ	アカボシツリフネ (アカボシツリフネソウ、ケーブツリフネ、ケーブツリフネソウ)	Impatiens capensis	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	176	トウダイグサ	小笠原諸島・奄美諸島などのアカギ	Bischofia javanica	Ⅳ		◎	アカギ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種 国内由来の外来種																							
	177	トチカガミ	外来セキショウモ (オオセキショウモ (ジャイアントバリスネリア)、セイヨウセキショウモに酷似した外来種)	Vallisneria gigantea, Vallisneria spp.	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	178	トチカガミ	クロモモドキ (ラガロシフォン・マヨール)	Lagarosiphon major	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	179	トベラ	シマトベラ (トウソヨゴ)	Pittosporum undulatum	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	180	ナス	ダイオウナスビ	Solanum mauritianum	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	181	ノウゼンカズラ	トラノツメ (ネコノツメ)	Macfadyena unguis-cati	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	182	ノボタン	アメリカカサノボタン	Clidemia hirta	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	183	フトモモ	タチバナアデク (ビタンガ)	Eugenia uniflora	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	184	フトモモ	テリハバンジロウ (キバンジロウ、キバンザクロ、シマフトモモ)	Psidium cattleianum	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	185	フトモモ	フトモモ	Syzygium jambos	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	186	フトモモ	ムラサキフトモモ (ヨウミヤクアデク、メシゲラック、ムレザキフトモモ)	Syzygium cumini	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	187	フジウツギ	フサフジウツギ (ニシキフジウツギ、チチフフジウツギ、ブッドレア)	Buddleja davidii	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	188	ベンケイソウ	クラッスラ・ヘルムシー	Tillaea helmsii	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	189	ベンケイソウ	セイロンベンケイ (トウロウソウ、セイロンベンケイソウ、ハカラメ)	Bryophyllum pinnatum	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	190	マツ	小笠原諸島などのリュウキュウマツ (オキナワマツ)	Pinus luchuensis	Ⅳ		◎	リュウキュウマツ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種 国内由来の外来種																							
	191	マメ	シュッコンルビナス (ルビナス、タヨウハウチワマメ、ノボリフジ)	Lupinus polyphyllus	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	192	マメ	ナガバアカシア	Acacia longifolia	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	193	マメ	メラノキシロンアカシア (ブラックウッドアカシア)	Acacia melanoxylon	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	194	マメ	モリシマアカシア	Acacia mearnsii	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	195	ミカヅキゼニゴケ	ミカヅキゼニゴケ	Lunularia cruciata	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	196	モクマオウ	トクサバモクマオウ (トキワギョリュウ)	Casuarina equisetifolia	Ⅳ		◎	トクサバモクマオウ / 国立環境研究所 侵入生物DB		総合対策外来種																							
	197	モウセンゴケ	ナガエモウセンゴケ (ナガエノモウセンゴケ、ドロセラ・インターメディア) 等の外来モウセンゴケ類	Drosera intermedia、Drosera spp.	Ⅳ		◎	ナガエモウセンゴケ / 国立環境研究所 侵入生物DB		特定外来生物																							
	198	ヤシ	シマケンチャヤシ (ユスラヤシモドキ)	Archontophoenix cunninghamiana	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	199	ヤシ	トウ風の一種 (カラムス)	Calamus sp.	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	200	ヤブコウジ	コウトウタチバナ (セイロンマンリョウ)	Ardisia elliptica	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	201	ヤマゴボウ	ジュズサンゴ	Rivina humilis	Ⅳ		◎			総合対策外来種																							
	202	ヤルマ	ケクロビア・シュレベリアナ	Cecropia schreberiana	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	203	ヤルマ	ヤツデグワ	Cecropia peltata	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							
	204	リュウゼツラン	アツバチトセラン (サンスベリア)	Sansevieria trifasciata	Ⅳ		◎			定着予防外来種																							

※1 農林水産業等の人への影響、生態系への影響については、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（環境省、2015年）に掲載されている選定理由を参考に、一般的な影響について次のように区分した。

<農林水産業等の人への影響>

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅲ、植物の選定理由Ⅴに相当）

空欄：上記以外

<生態系への影響>

◎：影響が大きい場合（動物の選定理由Ⅰ、植物の選定理由Ⅳに相当）

○：影響は大きくないものの交雑等で遺伝子攪乱が問題となる場合（動物の交雑種、植物の選定理由Ⅰに相当）

空欄：上記以外